

平成28年予算決算委員会第3分科会会議録

1. 招集年月日 平成28年9月16日
2. 招集の場所 可児市役所5階第1委員会室
3. 開 会 平成28年9月16日 午前11時40分 分科会長宣告

4. 審査事項

協議事項

1. 予算決算委員会提言の取りまとめについて

①キッズクラブについて

- ・指導員確保
- ・施設整備

②生活困窮者自立支援事業について

- ・任意事業の展開

③家庭相談事業について

2. その他

5. 出席委員 (7名)

分科会長	山根一男	分科会員	田原理香
分科会員	富田牧子	分科会員	山田喜弘
分科会員	川合敏己	分科会員	板津博之
分科会員	出口忠雄		

6. 欠席委員 なし

7. その他出席した者

予算決算委員長	可児慶志	予算決算副委員長	高木将延
---------	------	----------	------

8. 職務のため出席した者の職氏名

議会事務局 書記	服部賢介	議会事務局 書記	林桂太郎
-------------	------	-------------	------

○分科会長（山根一男君） これより予算決算委員会第3分科会を開催したいと思います。

認定第1号から認定第15号までの平成27年度各会計決算認定審査の結果を踏まえて、平成27年度の予算執行の反省を平成29年度の当初予算編成に生かすよう提言を行っていききたいと思いをします。

9月12日の予算決算委員会におきまして、委員から発言のありました内容をもとに、本日、分科会員の皆様から教育福祉委員会所管についての御意見をいただき、まとめていききたいと思いをします。

9月12日の予算決算委員会において出された意見は3つありました。お手元に資料が行っていると思いをしますが、1番目にキッズクラブについて、2番目に生活困窮者自立支援事業について、3番、家庭相談事業についてです。

これらの意見のうち、提言として取り上げるかどうかということも含めまして、一つずつ整理して、後ほど必要なものは成文化していききたいと思いをします。

意見と補足説明については、田原副委員長のほうで一応検証・検討していただいていますので、まずお願いしたいと思いをします。

○分科会員（田原理香君） 今回意見は3つございました。お手元にお配りしました資料のとおり、私どものほうでまとめてみましたのでごらんください。ちょっと読み上げます。

キッズクラブ待機児童の解消に向けて。急増するキッズクラブ入室ニーズに対応するため、指導員確保とともに耐震や衛生面も含めた施設及び環境整備の強化を早急に進めること。

2つ目、生活困窮者自立支援事業の充実。平成27年度においては「相談事業」「家計相談事業」を軸として、生活保護世帯の減少など一定の成果が得られた。さらに貧困の連鎖を断ち切る観点から、学習支援や就労支援などの任意事業も着手されたい。

そして3つ目、家庭事業相談の体制強化。家庭相談事業は児童虐待事案を予防する成果が上がっている一方、2年間で相談回数がほぼ倍増している。人的に十分対応できているのか再度検証するとともに、体制の整備・強化を進めること。

以上、こちらのほうで3つまとめてみました。皆さんのほうで諮っていただけたらと思いをします。

○分科会長（山根一男君） それでは、ここからは自由討議とさせていただきたいと思いをしますので、マイクのスイッチは入れながら発言していただきたいと思いをします。

この3点につきまして、全部ということもあるかもしれませんが、このうちのどれかということもあるかもしれません。自由に御意見のほうをお願いします。

○分科会員（富田牧子君） 時間が余らないから、言わせていただきますね。

1番目のキッズクラブの待機児童の解消に向けてって、こういうふうに提言しても実際どうなんだろうかねという話で、いろんな面でいろいろ言っていますよね。ここが限界ということで、新たに施設をふやすとかそういうことも大変無理だろうというふうに私は思うので、あえて提言はしなくてもいいんじゃないかと。それなりに一生懸命やっていますから、

当局が。私はそれは必要ないんじゃないかと。さらにまたここでこんなことを言わなくてもいいんじゃないかというのが1点。

2点目、学習支援や就労支援の任意事業をやれと言うけれど、これを実際にやってるところは、民間の団体があって初めてこれができるので、こういうことを言ったからといってできるわけではないということをぜひ知っていただきたいと。山根委員長が言われたと思うんですけど、実際には気持ちはあっても、やる団体がなかったら、子供食堂もそうですけど、それから学習支援もそうですけど、そういう団体なかったらやれないですよ。市にやれと言ったって、どうしようもない。そこが出てきて初めて、じゃあ補助しましょうとか、そういう話になるんであって、これもちょっとどうかなというふうに思います。

3点目、家庭相談事業の体制強化といいますが、可児市の子供発達支援室の設置についての案がありましたよね。それで、ここで平成29年にスタッフをほぼそろえて、一部業務を開始をする予定があるというふうに言ってるので、今提言しなくても、既にそういう線になっているんじゃないかと思うので、わざわざ提言しなくてもいいと思います。以上。

○分科会長（山根一男君） 今の意見も含めてでよろしいですので、自由意見をお願いします。

○分科会員（板津博之君） 1点目のキッズクラブ待機児童の解消に向けての文言なんですけど、委員会の中で私が発言した趣旨と若干ニュアンスが違ってしまっていて、提言にするかどうかは別として、私が考えてきたというか、私の思いを提言案にまとめたので、副委員長には申しわけないんですけど、ちょっと今から読み上げさせてもらっていいでしょうか。

キッズクラブ運営事業についてというタイトルで、急増する保育ニーズに対応するために、指導員の確保及び学校施設の活用を含めた保育施設の確保を進め（キッズクラブの）待機児童解消に努めること。

というのが私の思いなんですけど、確かに先ほどの委員会質疑でもありましたけれども、当局として、こども課が一生懸命やられていることは承知していますし、提言というか、わかっているながら、待機児童をなくすようにさらなる努力をしてほしいという期待も込めての提言になるのかなとは思いますが、これを採用するかどうかは皆さんのほうで判断していただければいいかなと思います。

○分科会員（川合敏己君） どちらかというと、私もこの3点の中では、家庭相談事業の体制強化に関しては、既に実際相談員が充足して、それで相談件数が、要するに掘り起こしができているんだと思うんです。もちろんさらに人員的に充足させていけば、もっと埋もれている声というのが聞こえてくるのかもしれないんですけども、家庭相談事業というのは今現在順調に進んでいるふうに私は思うんです。どちらかというと、さっき私が本当に懸念したのが、このキッズクラブ、確かにどうしようもないことなのかもしれないけど、現実的にはまだまだ小学校に入っていない子がどんどんふえているんだという状況を踏まえた上で、今、板津さんがおっしゃられたような提言というのはあえてしていくべき。これは、学校との調整もあるんで、やっぱり早目に手当てをしていかなきゃいけない喫緊の課題だと私は思います。

生活困窮者自立支援事業の充実に関しては、富田さんがおっしゃられたとおりだと思います。

○分科会長（山根一男君） ほかの方。

○分科会員（田原理香君） 私もキッズクラブの待機児童におきましては全く同じです。ただ、ここに耐震や衛生面も含めた施設及び環境整備というのを入れましたのは、本当に現状としましては、水回りだったりトイレだったり、それから床、とにかくもう施設の環境整備ということが、とても大勢を受け入れられるような体制に実際はなっていないということを非常に実感しております。ですから、ここの中に、指導員確保や学校施設の確保等含めて、一緒に入れられたらと思って盛り込んだところでございます。

○分科会員（川合敏己君） おっしゃるとおりです。まず、安全な施設であることは絶対条件なんですね。安心して子供たちが、快適とまではいなくても、楽しく過ごせる場でなくてはいけないもんですから、そういった意味では耐震、または環境整備というのは大切な要因にもなると思います。そういったものも盛り込んだ提言にしているのではないかなと思います。

私は全部を回ったわけではないので、多分キッズクラブに置かれている戸棚とかああいうのって、どこかで余っていたものを持ってきたりとかという感じのイメージが私はあるんですね。そういった備品も含めた耐震化というのはどうなのかなというのは、昔からちょっと疑問には思っていました。以上です。

○分科会員（板津博之君） 今、皆さんの御意見を聞いてますと、キッズクラブのことに話が集中していますので、先ほど富田委員のほうからも言われましたが、2番、3番はこの際ちょっと削って、キッズクラブで当分科会から1つ提言を出させていただくという方向にしてはいかがでしょうかという進行上の提案です。

○分科会員（川合敏己君） 賛成です。

○分科会長（山根一男君） ほかの方は。

出口委員、もしよかったら。この1つに絞るという方向でよろしいですか。

○分科会員（出口忠雄君） いいと思います。

○分科会長（山根一男君） わかりました。

先ほど自立支援事業につきましても、富田委員がおっしゃるとおり担い手がないことには何ともならないことは確かですし、社会福祉協議会がそこまでの力が今のところないということなので、そういったことも含めてということですが、あえて今そこまでということであれば、キッズクラブについてということで集中したいと思いますが、よろしいですか。御異議ございませんか。

〔「異議なし」の声あり〕

わかりました。

そうしたら、画面を使って文案につきまして検討していきたいと思いますが、

暫時休憩としたいと思います。

休憩 午前11時51分

再開 午後0時27分

○分科会長（山根一男君） そうしましたら、休憩前に引き続き再開したいと思います。

当分科会から予算決算委員会に報告する提言案を策定いたしましたので、副委員長より原案について提案させていただきます。読み上げてください。

○分科会員（田原理香君） では、読み上げさせていただきます。

キッズクラブ運営事業について。急増する保育ニーズに対応するために指導員及び保育施設の確保を進め、待機児童解消に努めるとともに事業の長期的展望を検討すること。以上です。

○分科会長（山根一男君） このとおり決定し、9月21日の予算決算委員会において報告することに御異議ございませんか。

〔「異議なし」の声あり〕

ありがとうございます。

それでは、この1点につきまして提案させていただきます。

本日はこれにて散会いたします。大変お疲れさまでございました。

閉会 午後0時28分

前記のとおり会議の次第を記載し、その相違ないことを証するため、ここに署名する。

平成28年9月16日

可児市予算決算委員会第3分科会長